



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL http://www.muro.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト 向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,948	4.1	1,198	4.3	1,255	37.3	922	40.7
29年3月期第2四半期	9,558	3.1	1,149	34.8	914	13.0	655	13.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 874百万円(191.6%) 29年3月期第2四半期 299百万円(△41.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	149.05	—
29年3月期第2四半期	105.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	21,840	14,523	66.5	2,347.75
29年3月期	20,722	13,853	66.9	2,239.46

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 14,523百万円 29年3月期 13,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,121	4.6	2,215	△4.2	2,381	△1.8	1,729	△7.2
								279.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	6,546,200株	29年3月期	6,546,200株
30年3月期2Q	359,969株	29年3月期	359,969株
30年3月期2Q	6,186,231株	29年3月期2Q	6,186,258株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界情勢は、欧州で選挙が相次ぎ、英国与党が惨敗して不安定感が増しましたが、その後のフランス総選挙では中道系のマクロン氏が大統領に就任したこともあり欧州経済は安定を維持しました。米国ではトランプ大統領の下で政治的には不安定な状態が続いているものの、経済的には投資を呼び込む圧力や減税期待等もあり、株高を伴う好調が持続しております。中国は景気下支え政策により成長を維持し、アセアン地域も消費が回復してきており、全体で見ても好調を維持しました。しかしながら、米国では社会的不安が増大し、北朝鮮は挑発を繰り返し、オーストリアでは右派政党が第一党となり、スペインではカタルーニャ州の独立問題が激化するなど、政治的・地政学的な不確実性が増している感があります。

一方国内情勢は、北朝鮮のミサイルが何度も領空を通過し、政権与党にも幾つかの疑惑が浮上して政治的には不安定感がありましたが、経済的には円安と株高に伴う景況感の改善等もあって企業業績は好調を維持し、堅調に推移しました。また、10月には衆議院解散総選挙が行われて与党が大勝し、安定した環境が維持されると思われれます。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第2四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は2,482千台（前年同期比7.7%増）と新技術の搭載効果等もあり増加に転じ、輸出台数は2,311千台（前年同期比2.5%増）と乗用車の輸出増により昨年に引き続き増加、国内生産台数は4,671千台（前年同期比5.9%増）と落ち込んでいた軽自動車の生産が回復し、増加しました。一方、日系自動車メーカーの1～6月の海外生産台数は9,856千台（前年同期比5.3%増）と増加、これに伴い国内4～9月と海外1～6月を合わせたグローバル生産台数は14,527千台（前年同期比5.5%増）と増加しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は国内ユニットメーカー向けの売上が伸長したことにより、9,948百万円（前年同期比4.1%増）と増加しました。営業利益は売上の増加と改善等の効果により、1,198百万円（前年同期比4.3%増）と増加しました。前年に発生しました営業外での為替差損が大きく減少したことにより、経常利益は1,255百万円（前年同期比37.3%増）と増加しました。結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は922百万円（前年同期比40.7%増）と増加しました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 車輦関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、9,450百万円（前年同期比3.9%増）と増加しました。国内は軽自動車生産が回復し、乗用車も新技術の搭載効果等により引き続き好調に推移したこと、ユニットメーカー向け売上が伸長したこと等により増加しました。海外では米国子会社の売上が、製品打切り等により減少しました。

② その他

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、498百万円（前年同期比7.2%増）と増加しました。海外は欧州・カナダが増加し、豪州・米国で減少しました。一方国内は、トラックとスチールハウス向けが伸び、増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、21,840百万円となり、前連結会計年度に比べ1,118百万円増加しました。主な減少は現金及び預金127百万円であり、主な増加は受取手形及び売掛金106百万円、電子記録債権140百万円、有価証券150百万円、有形固定資産502百万円、投資有価証券344百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度に比べ448百万円増加し7,317百万円となりました。主な減少は未払法人税等151百万円、長期借入金198百万円であり、主な増加は電子記録債務695百万円、流動負債のその他156百万円であります。

(純資産の部)

純資産は前連結会計年度に比べ669百万円増加し、14,523百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益922百万円及びその他有価証券評価差額金の増加51百万円であり、主な減少は剰余金の配当金204百万円及び為替換算調整勘定の減少94百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は66.5%（前連結会計年度は66.9%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、250百万円増加し4,336百万円（前連結会計年度末比6.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,451百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。これは法人税等の支払額385百万円、売上債権の増加額262百万円などの資金の流出があったものの、税金等調整前四半期純利益1,248百万円、仕入債務の増加額664百万円、減価償却費445百万円などの資金の流入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は712百万円（前年同四半期比14.0%減）となりました。これは定期預金の払戻による収入376百万円、有価証券の償還による収入110百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出643百万円、投資有価証券の取得による支出266百万円、有価証券の取得による支出258百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は451百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。これは長期借入金の返済による支出244百万円、配当金の支払額203百万円などの資金の流出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期及び当第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成29年11月9日に「業績予想の修正」で発表いたしました業績予想に変更はありません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,099,266	4,971,660
受取手形及び売掛金	2,634,779	2,740,823
電子記録債権	1,469,252	1,609,455
有価証券	224,251	374,679
商品及び製品	542,853	502,652
仕掛品	283,113	292,184
原材料及び貯蔵品	310,914	337,128
繰延税金資産	237,961	193,999
その他	271,957	310,744
流動資産合計	11,074,350	11,333,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,674,960	6,480,109
減価償却累計額	△3,641,234	△3,683,057
建物及び構築物（純額）	2,033,726	2,797,052
機械装置及び運搬具	11,451,884	11,622,660
減価償却累計額	△9,256,413	△9,371,154
機械装置及び運搬具（純額）	2,195,471	2,251,505
土地	1,470,462	1,458,331
建設仮勘定	960,213	627,725
その他	4,956,771	5,026,344
減価償却累計額	△4,742,064	△4,783,530
その他（純額）	214,707	242,814
有形固定資産合計	6,874,580	7,377,429
無形固定資産	125,136	111,586
投資その他の資産		
投資有価証券	1,885,522	2,230,383
長期貸付金	10,956	34,967
繰延税金資産	50,196	49,087
その他	705,644	708,266
貸倒引当金	△4,280	△4,300
投資その他の資産合計	2,648,039	3,018,405
固定資産合計	9,647,756	10,507,421
資産合計	20,722,107	21,840,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,042	860,326
電子記録債務	2,082,873	2,778,802
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	391,527	288,000
未払金	469,312	598,707
未払法人税等	436,284	284,723
賞与引当金	554,043	455,326
役員賞与引当金	16,055	20,915
その他	497,514	654,035
流動負債合計	5,655,653	6,240,838
固定負債		
長期借入金	802,750	603,999
繰延税金負債	92,145	116,393
役員退職慰労引当金	22,538	23,371
退職給付に係る負債	224,849	223,994
その他	70,327	108,405
固定負債合計	1,212,613	1,076,164
負債合計	6,868,266	7,317,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	11,678,426	12,396,358
自己株式	△182,550	△182,550
株主資本合計	13,495,262	14,213,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,154	424,435
為替換算調整勘定	81,382	△13,329
退職給付に係る調整累計額	△95,959	△100,553
その他の包括利益累計額合計	358,578	310,551
純資産合計	13,853,840	14,523,745
負債純資産合計	20,722,107	21,840,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,558,277	9,948,357
売上原価	7,329,768	7,624,621
売上総利益	2,228,508	2,323,736
販売費及び一般管理費		
運搬費	182,278	187,122
役員退職慰労引当金繰入額	886	882
給料及び賞与	309,934	291,435
賞与引当金繰入額	72,959	84,868
役員賞与引当金繰入額	13,790	20,915
退職給付費用	10,137	9,235
減価償却費	20,749	18,059
貸倒引当金繰入額	230	52
その他	468,327	512,445
販売費及び一般管理費合計	1,079,294	1,125,018
営業利益	1,149,214	1,198,717
営業外収益		
受取利息	5,949	19,499
受取配当金	12,547	14,105
その他	27,667	39,531
営業外収益合計	46,163	73,136
営業外費用		
支払利息	10,795	6,679
為替差損	264,300	5,221
減価償却費	3,966	3,498
その他	1,813	968
営業外費用合計	280,875	16,368
経常利益	914,502	1,255,486
特別利益		
固定資産売却益	113	627
特別利益合計	113	627
特別損失		
固定資産除却損	4,530	7,927
特別損失合計	4,530	7,927
税金等調整前四半期純利益	910,085	1,248,186
法人税、住民税及び事業税	221,970	280,199
法人税等調整額	32,695	45,909
法人税等合計	254,666	326,109
四半期純利益	655,418	922,077
親会社株主に帰属する四半期純利益	655,418	922,077

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	655,418	922,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,902	51,280
為替換算調整勘定	△362,998	△94,712
退職給付に係る調整額	13,235	△4,594
その他の包括利益合計	△355,665	△48,026
四半期包括利益	299,752	874,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,752	874,051
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	910,085	1,248,186
減価償却費	405,291	445,699
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	20
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,010	△98,717
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,114	4,860
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,016	832
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△16,070	△855
受取利息及び受取配当金	△18,496	△33,604
支払利息	10,795	6,679
為替差損益(△は益)	258,168	△11,699
固定資産除却損	4,530	7,927
売上債権の増減額(△は増加)	△46,362	△262,061
たな卸資産の増減額(△は増加)	165,047	△7,890
仕入債務の増減額(△は減少)	297,097	664,583
未払金の増減額(△は減少)	△250,680	1,503
その他	11,391	△154,776
小計	1,716,737	1,810,687
利息及び配当金の受取額	17,584	33,550
利息の支払額	△10,785	△7,050
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△292,824	△385,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,430,711	1,451,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△238,287	△12,006
定期預金の払戻による収入	9,853	376,927
有価証券の取得による支出	—	△258,188
有価証券の償還による収入	—	110,350
有形固定資産の取得による支出	△469,431	△643,345
無形固定資産の取得による支出	△8,153	△2,828
投資有価証券の取得による支出	△110,886	△266,416
その他	△11,423	△16,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828,329	△712,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入金の返済による支出	△104,412	△244,298
配当金の支払額	△185,306	△203,918
自己株式の取得による支出	△43	—
リース債務の返済による支出	△8,190	△3,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397,953	△451,811
現金及び現金同等物に係る換算差額	△230,104	△37,157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,675	250,180
現金及び現金同等物の期首残高	4,564,152	4,086,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,538,477	4,336,310

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	9,093,213	465,063	9,558,277	—	9,558,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,093,213	465,063	9,558,277	—	9,558,277
セグメント利益	1,376,560	68,789	1,445,349	△296,134	1,149,214

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△296,134千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	9,450,008	498,349	9,948,357	—	9,948,357
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,450,008	498,349	9,948,357	—	9,948,357
セグメント利益	1,371,967	116,370	1,488,338	△289,620	1,198,717

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△289,620千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。